

林業専用道の整備が進む現場を安全パトロール

～ 熊本林業土木協会 大支部主催による 大越・赤木谷林道(大越側)新設工事現場を安全パトロール ～

11月28日、熊本林業土木協会 大支部主催(支部長 永吉陽一(小倉建設(株)代表取締役))により、大分森林管理署長発注の大越・赤木谷林道(大越側)新設工事の安全パトロールが実施され、所属する協会の小倉建設(株)、清川産業(株)、(株)菅厚組、九州緑化施設(株)、大政建設(株)、(株)梶原組、(株)山崎産業の各社及び大分森林管理署、大分西部森林管理署から参加し、総勢28名により実施されました。

はじめに、同支部の江藤 事務局長(清川産業(株)代表取締役)から「施工中の安全対策は、重要な取り組み課題の一つです。本日、ご参加いただいた皆さんと現地の安全対策を確認し、安全意識の向上につなげたい。」と挨拶がありました。

つづいて、両森林管理署を代表して坂本大分森林管理署長から「貴協会には、九州森林管理局からお知らせされているとおり、重大災害を含む労働災害が多発する等非常に憂慮すべき状況にあります。本日の安全パトロールを活かして、さらなる安全意識の向上につなげていただき労働安全の確保をお願いします。」と挨拶がありました。

安全パトロールでは、山崎産業(株)の石田 現場代理人から施工状況や安全確保の取り組みの説明を受けた後、参加者全員で、転落防止柵の設置状況、資材を吊る際に使用する玉掛ワイヤーの点検など施工全般にわたって点検を行いました。その後の意見交換では、危険予知活動を充実させて労働災害の未然防止に取り組んで行くことを確認しました。

おわりに、益田 大分西部森林管理署長から「伐倒作業をはじめ作業機械に係る災害も発生しています。また、大分県内では、労働災害が多発している状況です。本日の現場に限らず急傾斜地の箇所では、足下、周囲の確認を確実にお願いします。また、地元集落を通行する際には、地元優先の配慮をお願いします。」と挨拶がありました。



坂本 大分森林管理署長 挨拶



坂本 大分森林管理署長 挨拶



江藤 事務局長 挨拶



概要説明
山崎産業(株)石田現場代理人

【 安全パトロール及び意見交換 】



法面作業箇所の点検



法面作業箇所の点検



意見交換の様子



意見交換の様子